

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	母親学級の充実						掲載ページ		
							63		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		26,261	千円	28,117	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか 妊娠や出産・育児に関する知識の普及を図るため、土日開催や託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	母子の健康確保や妊婦同士の交流や妊娠・出産・育児に必要な知識を提供するため、妊婦を対象とした母親学級を各区で開催します。また、教室内容の充実を図るため、医療機関における保健指導の実施状況について調査します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	母親学級開催数		100 回	維持	84 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	より多くの妊産婦やその家族に対して、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及を図ることは重要です。 （最終目標と最終年度）						
	母親学級参加者数		1,254 人	参加者数の向上	1,707 人	順調 やや遅れ 遅れ	順調
より多くの妊産婦やその家族に対して、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及を図ります。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	参加者からは仲間ができて、参考になったとの意見があり、妊婦同士の交流や妊娠・出産・育児に必要な知識を提供し交流する場として、事業の有効性は高いと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係機関と連携し、参加しやすい教室内容を工夫することで、より効果的な情報提供を行うことが必要です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
核家族化が進み、育児環境が変化する中で、出産や育児の負担が母親のみにかからないよう、夫婦で協力して育児に取り組む大切さを認識する機会になっていることから、今後も継続して事業を行っていきます。平成23年度に実施した医療機関における保健指導の実施状況の結果を踏まえ、教室の内容について検討し充実を図るとともに、様々な機会を通して事業の周知を行い、効果的な事業の推進を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	母子健康手帳の充実						掲載ページ		
							63		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		26,261	千円	28,117	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	母子の健康状態を記録するとともに、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を提供することで、母子の健康の保持及び増進を図ります。また、妊婦健診の早期受診の勧奨やマタニティマーク等の情報を効果的に提供し、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進します。			活動実績 活動結果は下記のとおりです	
活動計画	妊婦健診の周知を図り、妊娠11週までの妊娠届出者の割合を増加させます。また、母子健康手帳交付時に、子育てに関する情報を提供し、保健師等の専門職が相談に応じ、妊娠中からの継続した支援を行います。医療機関における保健指導の実施状況について調査します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	母子健康手帳の交付数		8,746 件	全妊婦への面接	8,566 件	大変順調
	個別面接による随時交付を実施することで、ハイリスク者への相談、支援の機会を保障します。母子健康手帳交付時に安全な出産のための妊婦健診の重要性について説明します。 （最終目標と最終年度）					
	母子健康手帳の交付案内の配布		13,000 枚	関係機関への必要枚数の配布	13,000 枚	順調 やや遅れ 遅れ
母子健康手帳交付のご案内のチラシを作成し、関係機関と協力して、母子健康手帳の交付の周知活動を行います。 （最終目標と最終年度）						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	妊娠中から必要な情報を提供し、継続した支援を行うことは、育児不安の軽減に繋がり、安心して妊娠・出産・育児ができることから、母子健康手帳の交付は必要です。個別面接による交付と同時に相談や情報提供を行っているため、母子の健康管理に役立てることができています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係団体の意見を参考に、北九州市独自の母子健康手帳を作成しているため、コストダウンは難しい状況です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
母子健康手帳は妊婦全員に交付するため、妊娠・出産・育児に関する情報を確実に提供することができるとともに、妊娠初期からの継続した支援に繋がります。また、妊婦健診やマタニティマークの周知を図ることで、安心して生み育てる環境づくりに繋がっています。しかし、母子健康手帳の利便性に対する要望も多いため、内容を見やすく工夫する等の見直しを行い、より効果的に活用できるよう検討します。また、平成23年度に実施した医療機関における保健指導の実施状況についての調査結果を踏まえ、母子健康手帳の内容を検討します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	母子健康診査事業							掲載ページ
								63
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局
		921,961	千円	971,088	千円	施策名	母子保健	担当課
								子ども家庭局
								子育て支援課

【Plan】計画					【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	妊婦や乳幼児に対する健康診査を公費助成することで、子育て世帯の経済的な負担を軽減するとともに、母体の健康維持や胎児の健やかな発育を支援します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	妊婦健診の公費助成を14回行うとともに、受診勧奨を行うことで、受診率を向上させます。また、様々な機会を通じて妊婦健診を周知し、11週までの妊娠届出者数を増加させます。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標		【活動の状況】
	妊婦健康診査受診率		96.6 %	増加	98.5 %	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 大変順調
	母体の健康を保持し、安心して妊娠・出産するために、妊婦健診の受診は必要です。 （最終目標と最終年度） 100%（平成26年度）					
	3歳児健康診査受診率		87.8 %	増加	89.9 %	順調 やや遅れ 遅れ
乳幼児の健康を保持し、健全な育成を促すために、乳幼児健診を受診することは必要です。 （最終目標と最終年度） 90%（平成26年度）						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	妊娠早期から健診を確実に受診することや乳児期に適宜健診を受診することは、疾病の予防や異常の早期発見につながることから、母体や乳幼児の健康保持のために母子健康診査は重要です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係機関と協議して実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
妊婦健診の公費助成回数拡充及び項目を追加し、健診の周知を図ったことで、妊娠早期から受診する人が増加しています。今後も健診の周知や健診結果に応じた支援の充実を図り、事業を継続していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	両親学級						掲載ページ		
							63		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		26261	千円	28117	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	夫婦が協力して出産・育児に取り組む大切さを学ぶため、土・日曜日など父親の仕事が休みの日に沐浴や妊婦疑似体験等の実習を取り入れた教室を開催します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	夫婦が参加しやすい時間帯、曜日を考慮して、実施します。実習を取り入れることで、夫婦で学べる教室を計画します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	両親学級開催回数		31 回	現状維持	31 回	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	より多くの夫婦に対して、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及を図ることは重要です。 (最終目標と最終年度)現状維持(毎年度33回)平成26年度					大変順調	
	(最終目標と最終年度)				順調		順調
				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	母子の健康確保のため、妊婦を対象とした母親学級を各区で開催しており、妊婦同士の交流や妊娠・出産・育児に必要な知識を提供する場となっています。また、教室内容の充実を図るため、医療機関における保健指導の実施状況について調査しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	参加者からは仲間ができて、参考になったとの意見があり、妊婦同士の交流や妊娠・出産・育児に必要な知識を提供し交流する場として、事業の有効性は高いです。核家族等により身近に相談する人が少ないことや、様々な情報が氾濫していることから、妊娠・出産・育児に関する適切な知識を提供し、子育て支援サービスの普及を図ることは重要です。地域との関わりを促し、市としての情報を提供するために市の関与が必要です。関係機関と連携し、参加しやすい教室内容を工夫することで、より効果的な情報提供を行うことが必要です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
核家族化が進み、育児環境が変化する中で、出産や育児の負担が母親のみにかからないよう、夫婦で協力して育児に取り組む大切さを認識する機会になっていることから、今後も継続して事業を行っていきます。平成23年度に実施した医療機関における保健指導の実施状況の結果を踏まえ、教室の内容について検討し充実を図るとともに、様々な機会を通して事業の周知を行い、効果的な事業の推進を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	日本語と子育て教室						掲載ページ		
							64		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	総務企画局
		554	千円	950	千円	施策名	母子保健	担当課	国際政策課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	本市の外国人市民の構成において、いわゆるニューカマーと呼ばれる、1990年代以降来日した方の割合が増えています。その中には、日本語や日本の生活習慣の知識が十分でない方も多く含まれているため、そのような外国人市民に対して、多言語による生活情報の提供や日本語教室の充実を図るとともに、相談体制の強化を図ります。				活動実績	活動結果は、以下のとおりです。	
活動計画	「日本語と子育て教室」といった生活支援事業については、今後も継続して事業を実施することとしています。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	日本語と子育て教室の参加者数		459 人	400 人	509 人	127.3 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	言葉の問題と子育てで孤立しがちな外国人市民に対する生活支援として、託児付きで「日本語」と「子育て」の両方が学べる講座を開催しています。年度当初における受講者の約7割が1年間継続して受講することを目標に指標を設定しています。 （最終目標と最終年度） 平成23年度で市の主催事業終了							
	日本語と子育て教室の開催数		46 回	46 回	46 回	100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	大変順調
相談窓口の存在を知らない外国人市民もいると思われるため、当面は、この相談窓口の周知を徹底し、地域で孤立する外国人市民を出さないことを目標に相談件数の増加を目指しています。 （最終目標と最終年度）								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「日本語と子育て教室」については、実施場所である子育てふれあい交流プラザの協力があったことや、広報について、チラシ等の紙媒体や外国語FMラジオ放送による事業のPRを行ったことが、一定の成果につながったと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	外国人市民の生活支援事業については、多くの事業で民間ボランティアの方の協力を頂くことで、効率的・効果的な運営を行えるとともに、ボランティア活動の場の提供にもなっています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今年度、新たに八幡西区（北九州市立子どもの館）においても教室を開催し、子育て中の外国人市民（保護者）を対象とした日本語教室を開く中で、日本語だけでなく生活に必要な情報提供や、保護者同士のつながりを作る場として活用していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	北九州市国民健康保険出産育児一時金の給付						掲載ページ		
							64		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		543,658	千円	726,600	千円	施策名	母子保健	担当課	保険年金課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	出産育児に係る経済的負担を軽減するため、他の健康保険で実施されている制度と同様、出産時に世帯主に対して、出産育児一時金を支給します。また、平成21年10月からは被保険者への負担軽減をより一層進めるため、国民健康保険から医療機関等に出産に係る費用を直接支払う制度（直接支払制度）を実施しています。				活動実績	国保のてびきやホームページを通じて制度の広報を行いました。また、差額支給がある世帯に対しては、届出の勧奨を行いました。	
活動計画	出産した被保険者がいる世帯主に対して出産育児一時金を支給します。直接支払制度を利用している場合は医療機関等に支払いを行います。また、差額支給がある場合は世帯主に届出勧奨を行います。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	出産育児一時金の支給件数		1,360 件	-	1,289 件		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	上記指標により、国民健康保険の被保険者が出産した場合の世帯主に対する出産育児一時金の支給状況が把握できるため、指標として設定 （最終目標と最終年度）							
							順調	順調
						やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	国民健康保険の被保険者が出産した世帯から申請が出されており、出産に係る費用の負担軽減に大きな効果があったと考えています。また、本制度は、出産に係る費用の軽減のため、他の健康保険も実施している事業であり、本市国民健康保険についても、国民健康保険法第58条等により給付するものと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	他の健康保険も同じように実施している制度であり、適切なコスト設定であると考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
現状維持